

学習内容報告書 1

学校名	東京都板橋区立板橋第三中学校
授業者	輪湖みちよ

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

日本の諸地域・身近な地域の調査

1-2. 学年

第二学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科・総合的な学習の時間・特別の教科道徳

1-4. 単元の概要

全43時間

一次：中部地方（5時間）

二次：北海道・九州地方（12時間）

二次：東北・中国四国地方（12時間）

三次：関東地方（7時間）

四次：近畿地方（7時間）

1-5. 単元設定の理由・ねらい

日本の諸地域や身近な地域の自然環境の特色と、その背景・原因や影響・活用を地理的事象から理解することをねらいとして、中部・北海道・九州では自然環境と産業、東北・中国四国は自然環境と人口、生活文化、関東・近畿は自然環境と歴史的背景を主な視点とした。各地域における人々の営みが自然環境、特に海とどのように関わっているのかを地理的事象を基にとらえることで、私達と自然環境とのつながり・関わりを考えることにつながると考え、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

【知識・技能】

日本の諸地域や身近な地域の自然環境の特色とその背景・原因や影響・活用を地理的事象から理解する

【思考・判断・表現】

私達と自然環境とのつながりについて、地理的事象を基に未来を生きる自分たちが受け継いだり、新たに取り組んだりすることを考え、試行錯誤しながら、仲間と協力して行動する

【主体的に学習に取り組む態度】

私達の生活（社会・経済）と自然環境（環境）どれもがバランスよく、持続可能であることをめざし、主体的に行動する

1-7. 単元の展開（全43時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
一 次 1~ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方の概要（全体） ・北陸地方の自然環境と産業 ・中央高地の自然環境と産業 ※移動教室で訪れる地域 ・東海地方の自然環境と産業 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地方の人たちはどのように自然環境を利用して産業を行っているのか／都市部に住む私達は自然環境とどのように付き合っていくか（単元まとめ：知識・技能、思考・判断・表現）
二 次 1 ~12	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方の概要（全体） ・九州地方の概要（全体） ・北海道江差町におけるエコツアーの実際 ・北海道九州地方の豊かな自然環境を利用し、守るエコツアーの作成・検討（個人） 	<p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道江差町 宮崎拓馬さん（オンライン交流） <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人レポート：エコツアー（知識・技能、思考・判断・表現、主体）
三 次 1 ~12	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の概要（全体） ・中国四国地方の概要（全体） ・東日本大震災における被害と復興の状況 ・離島の生活文化と過疎 ・中国四国地方の自然環境と過疎 ・自然環境と共生する持続可能な地域創り（個人） 	<p>【外部講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市視察の報告（中学生語り部の動画） ・離島経済新聞社 鯨本さん・松本さん（オンライン・対面） ・日本ウミガメ協議会会長 松沢慶将さん（オンライン交流）
四 次 1~ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方の概要（全体） ・江戸時代から続く東京湾の伝統産業 ・都市部に住む私たちはどのように自然環境と共生していくか ・北海道静内高校の防災・減災提言から考える身近な地域をよりよくするために 	<p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三番瀬海苔漁師 福田武司さん ・北海道静内高校（オンライン） ・一掃計画 内田樹さん
五 次 1~ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方の概要（全体） ・近畿地方の文化遺産や自然遺産の歴史的背景 ・近畿地方の人たちは遺産をどのように守り、受け継いでいこうとしているのか 	<p>【外部連携・使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍「くじらの町太地今昔写真集」「古式捕鯨絵巻」「美しき伊勢湾」「鯨者六鯨ト申候」 ・インタビュー・写真/三重県海の博物館学芸員、海女について・和歌山県太地町くじらの博物館学芸員、捕鯨について

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海苔漁師・福田武司さんの話から、東京湾の自然環境を活かした伝統産業について知る

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none">・ 講師紹介 (以下、講師による講演)・ 東京湾の自然環境について<ul style="list-style-type: none">・ 沖縄県の海と比較して・ 東京湾の変化、保全活動・ 海苔漁について<ul style="list-style-type: none">・ 江戸時代の塩田・ 水運を利用した江戸への輸送・ 塩から海苔へ・ 海苔ができるまで・ 自然環境との共生について	<p>(事前学習：東京湾の概要と福田さん紹介資料、福田さんへの質問事項検討)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 福田さんが採った貝の提示・ 福田さんが製造した海苔の提示 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 振り返り「都市部に住む私達はどのように自然環境と共生していくか」(中部地方学習時の記述との比較)

3. 今回の活動の自己評価

多くの生徒がもつ東京湾のイメージ＝「汚い」や、東京は自然が少ないという感覚に訴えかけようと学習活動を企画した。夏休み中に三番瀬を訪れ、実際の干潟や海の様子を見たことや貝を採る体験をしたことを基に福田さんと相談しながら授業計画を立てたことで、生徒が興味関心をもって話を聞く姿が見られた。振り返りからも、自然環境と自分との関わりについて以前よりも具体的に書く生徒が増えた。

4. 今後の課題

一回きりの授業ではなく、継続して関わってもらう単元構成を考えていく必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

各学校所在地の地理的・歴史的特色や校外学習等の行事等の兼ね合い